

フレッシュ研修（3年目）報告書

～初任校研修（3年間）の締めくくり～

岩川 雄大（家政科）

1 はじめに

私は、平成 31 年度鹿児島県教職員採用試験に合格し、鹿児島県立奄美高等学校に勤務することになり、本年度で3年目となった。3年間にわたっておこなわれる初任校研修も本年度で最終となる。

昨年度は初めての担任を任せ、緊張と不安が入り交じる中スタートした1年だった。初めての担任業務、生徒・保護者対応に加え、検定指導や部活動指導など、日々の仕事に追われ、気がつくとも1年が過ぎていたという印象であるが、それと同時に、今までにない充実感で満たされた1年でもあった。

3年目となる本年度も、ありがたいことに担任を任せていただいた。初任校研修も最終年度ということで、担任を受け持っているクラスで実践した研究授業を通して、常日頃からテーマとしていた「授業における効果的な ICT の活用」についてまとめ、次年度以降のさらなる成長につなげていきたい。

2 教職員としての誓い

私は、鹿児島県の教職員となるにあたり、次の3つのことを誓った。

- (1) 授業で勝負できる教師になる
- (2) 生徒と共に成長できる教師になる
- (3) 全ての人から信頼・応援される教師になる

3 職務を通しての現状

(1) 校務分掌

- 2年5組 家政科 担任
- 教務部：時間割係（チーフ）
- 教務部：調査統計係
- 生徒指導部：寮生指導係
- サッカー部副顧問

(2) 担当授業

教科	時数	対象
家庭総合	2	家政科1年
家庭総合	1	機械電気科3年
ファッション造形基礎	2	家政科1年
ファッション造形基礎	4	家政科2年
生活産業情報	1	家政科1年
生活産業基礎	2	家政科1年
課題研究	3	家政科3年

4 研究授業

1年目から、ICTを活用した授業をおこなうことをテーマとし教材研究をおこなってきた。本年は、「ファッション造形基礎」の授業内の『被服実習』において、ICTを取り入れた授業をおこなった。

(1) 授業の展開

課程	時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価・備考
導入	5分	1. クイズ形式で前時までの復習をする。 2. 本時の目標を知る。	・パワーポイントを用い、クイズ形式で前時までの内容を簡単に復習させる。	P. P
展開 I	10分	ヨークの役割について理解し、正しく縫い合わせることができるようになる。		ワークシート P. P
		3. ヨークの役割について考え、ワークシートに記入する。(個人⇒ペア) 4. 様々なヨークの種類について知る。	・ヨークの役割についてペアで考えさせ、ワークシートに記入させた後、発表させる。 ・ヨークの役割を説明し、様々なヨークの種類があることを写真で見せ、衣服の構成に興味を持たせる。	
展開 II	30分	5. 縫製の仕方について説明を聞き、ヨークと身ごろを縫い合わせる。 6. 縫い代始末の仕方の説明を聞き、縫い代をアイロンで倒す。	・作り方手順書を元に、書画カメラを用い、縫製の仕方を説明し実際に縫製をさせる。 ・縫い代は全てヨーク側に倒すことが重要だと認識させ、作り方手順書にチェックを入れさせる。	手順書 書画カメラ P. P ワークシート
まとめ	5分	7. ワークシートに本時の感想・評価を記入し、片付けをする。	・本時を振り返り、ワークシートに感想を記入させるとともに、自己評価をさせ進捗度を確認する。	ワークシート

(2) スライド・ワークシート



1



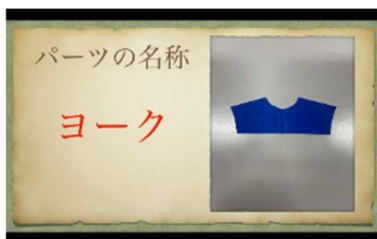
2



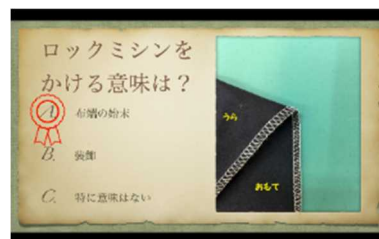
3



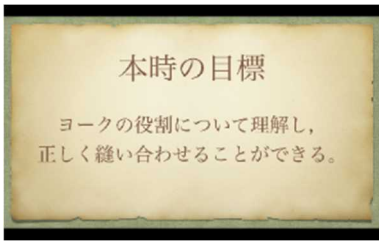
4



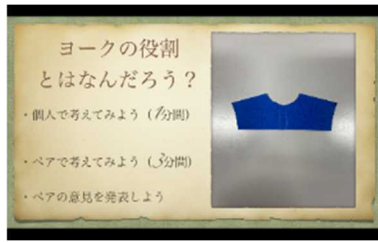
5



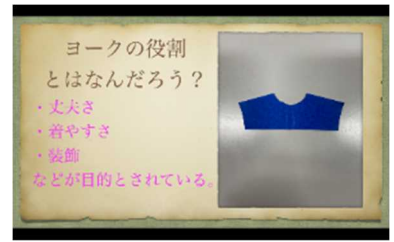
6



7



8



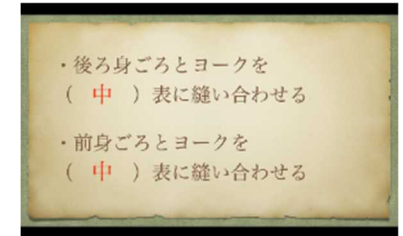
9



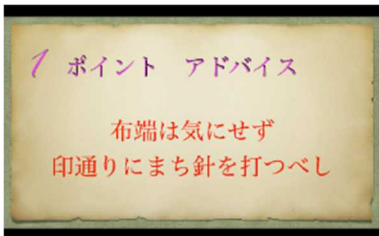
10



11



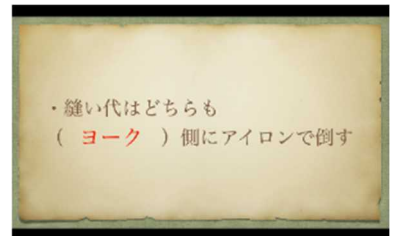
12



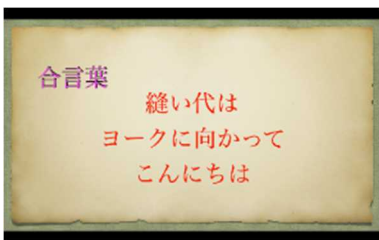
13



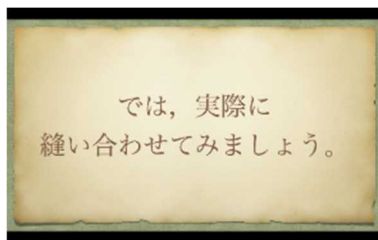
14



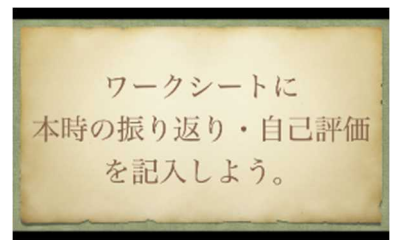
15



16



17



18



19

ファッション造形基礎 ワークシート

8月27日(月) 6限

2年5組 () 番 名前 ()

◆本時のテーマ◆

1 (グループ) 話し合いのためにあるのか考えて、記入しよう。

自分の考え:

 ベアの考え:

答え: 丈夫さ・着やすさ(可動範囲の確保)・装飾などが目的

2 縫い合わせるためのポイントをまとめよう。

① 後ろ身ごろとヨークを(中)表に縫い合わせる。
 ② 前身ごろとヨークを(中)表に縫い合わせる。
 ③ 縫い代はどちらも(ヨーク)側に倒す。

3 本時の振り返りと自己評価をしよう。

今日の授業で学んだこと・身についたと思うことを自由に記述しよう。

自己評価をしよう。

・具体的に製作活動に取り組めた	5	4	3	2	1
・ヨークの役割を考えたことができた	5	4	3	2	1
・正しく縫製できた	5	4	3	2	1
・ヨークの役割や縫い代の始末の方法を理解した	5	4	3	2	1

【ワークシート】

(3) 授業の様子



(4) 授業の反省 (☆：よかった点 △：改善が求められる点)

☆電子黒板を利用したことで、スライドや書画カメラの映像が鮮明に写った。

☆書画カメラを利用することで、手元が生徒と同じ方向を向き、拡大して示範できるため、生徒の理解の深化につながった。

△製作の手順は、動画を流すなどした方が時間の短縮につながった。

△話し合いの場面で出た生徒の意見を板書等に残すべきだった。

△指示が正確に伝わっていない生徒が数名いた。

5 今後の課題

3年間の授業を通して、全授業とはいかなかったが、多くの場面でICT機器を活用してきた。その中でICTを活用することで生徒の理解が深まると感じる場面は多くあった。まさに「百聞は一見に如かず」だなと感じた。しかし同時に、そればかりに偏ることが必ずしも最善とは限らないとも感じた。現段階では、環境整備の不十分さ、教員側のスキル不足がいなめない。

ICTを利用することがスタンダードになりつつある昨今ではあるが、環境・生徒の現状・授業の内容等を鑑みて、『生徒にとってどの方法が最善か』ということを吟味し、デジタルとアナログを使い分けながら、ICT機器をうまく活用していくことが重要だと考える。

6 おわりに

まずは、3年間にわたる初任校研修において、ご指導いただいた全ての先生方や、初任者である私のつたない研究授業に協力してくれた全ての生徒に、深く感謝したい。奄美高校に赴任した日から約3年経つが、いまだに理想とする教師像とはかけ離れており、『自分自身の成長』を感じられる場面はあまりない。しかし、『生徒の成長』を感じることは本当に多くなった。自分のことで精一杯だった3年前と比べると、生徒とじっくり向き合うことができているのではないかと思う。

初任校研修の3年間、本当に多くの先生・生徒・保護者に支えられて、なんとかここまでやってこられた。これまでの私に関わってくくださった全ての人や、これから関わっていく全ての人に、私が今感じている「出会えてよかった」と感じてもらえるよう、これからも日々精進していきたいと思う。「一人でも多くの生徒の人生に、少しでも関わって、なにかしらの贈り物が届けられる」…そんな教師を目指してこれからの教員人生を歩んでいきたい。